



# LONGIN

*We create in Tokyo Japan since 2011*

WEB MAGAZINE Vol.

13



Tactics of Shallow Water using Levin Light!

# シャローを狙え!

Text by 太田隆太郎



レビン は、LONGIN. ルアーデザイナー伊藤仁が作り出した、このルアー最大の特徴である『フィンキール』を搭載したシンキングペンシルだ。レビンシリーズは、様々な状況下でオールマイティーに使えるシリーズ第一弾のレビン 20g が、『シンキングペンシルの新しい可能性』というキャッチとともに、まず初めにリリースされた。

続いて発売されたのが、『風の壁をも貫く飛距離と荒れた状況下でも粘り続ける泳ぎ』をコンセプトに開発されたレビンヘビー 28g だ。これは、磯やサーフ、外洋向けに作られた、状況対応力を高めたヘビーウエイトモデルである。荒れた状況下や足場の高いポイント、流れの強いときでも水面から飛び出さない粘り強い泳ぎは、まさにクラス最高峰と言えるだろう。

レビン 20g、レビンヘビー 28g に共通しているのが、レビン最大の特徴であるフィンキールの恩恵である「粘り強い泳ぎ」。通常のシンキングペンシルは構造上、流れの強いポイントや速巻きをした際に浮き上がりやすく、泳ぎが破綻してしまう弱点を持っていた。そんな常識を覆したのが、伊藤が考案したシンペンに粘り強い泳ぎを授けたフィンキールだ。

そして今回新たに登場するのが、シャローに特化したモデル「レビンライト 12g」。シーバスを狙う上でシャロー帯の攻略は必須。レビンライトは自重が軽くなったことでフィンキールの水噛み力がさらに強く影響し、スライド幅がよりワイドになっている。そのため、レビンシリーズの中でもいちばん大きなS字を描きなから、軽快にテールを振る特徴を持っている。

# LEVIN LIGHT

レビンライト Length:95mm Weight:12g 9月発売予定



※初回限定カラー

## カッ飛び表層対応のライトモデル! シャロー攻略の絶対エース!

**す**でにリリースされている 20g、28g は、得意なレンジは違うが浮き上がりを抑えてキープし続けることで、今までシンキングペンシルでは攻めきれなかった状況を打破することができるルアーとして、リリース後からアングラーに多大な支持を得た。

レビンをすでに愛用して頂いているユーザーは、レビンが持つ特性をご存知かと思うが、レビンを未使用なアングラーのために、レビンについて説明しよう。

『バンドカーブ、体高と幅の比率、面のカットやウェイト配置にアイの位置など、シンペンが必要とされる飛びと泳ぎのバランスをゼロから再構築

し、すべての要素をシンプルにまとめ上げたボディにフィンキールを搭載。

リーリング時にテールを左右に大きくスウィングする際、フィンキールを含めた顔の面に水が当たることで頭部が左右に流れ出す〈スウィングスラロームアクション〉を演出するのがレビンシリーズである』

上記は、レビンシリーズ全てに共通する特徴だ。

では、レビンライトはどんなモデルなのか。いつもであればここでルアービルダーの伊藤氏にコメントをもらうのだが、今回はLONGIN. のもう一人の代表である太田氏に解説してもらった。

「3シリーズの中で最軽量となる12gのライトモデルは、軽量化×フィンキールの影響で、デッドスローで巻くと特にスライド幅が広がります。作ったメーカーの人間が言うのもなんですが、このヌメヌメとした艶かしい動きは、まるで生き物のようです。

この大きく描かれるS字アクション＝スウィングスラロームがシーバスの捕食本能を刺激するので、使い始めるときにはぜひデッドスローでのアクションから見てみて欲しいですね」

レビンライト12gはデッドスローはもちろん、速巻きまで幅広いリトリブスピードに対応しているので、遅い速いにかかわらず、流速の変化にも機敏に反応することができる。そのため、強い流れの中や速巻きでも



表層デッドスロー巻きからの突然のアタリを、完璧なタイミングでフッキングしたときは最高に気持ち良い！



遠浅の干潟（シャロー帯）で絶対的効果を発揮！ こんなアマモが生い茂るポイントでも細かいレンジ攻略が可能だ。

水面直下～約 40cmのシャローレンジを、レビンシリーズ特有の粘り強い泳ぎでレンジキープし続けることが可能だ。

もちろんロッドティップの上げ下げでより細かいレンジ調整もできるので、レビンライト 12g の登場によりシャロー帯攻略の幅はさらに大きく広がるだろう。

## **12g とは思えない飛距離を実現!**

レビンライトはシンペンの中では軽めの『12g』の設計。それは干潟や河川といったシャロー帯でデットスローに巻いてもボトムを擦ることなく、着水地点から巻き終わりまでゆっくり丁寧に見せ続けることを可能にするためのウエイトセッティングだ。

しかし、当然ながら自重が軽いと飛距離が落ちてしまう。そんなジレンマを抱えながらも、長い長いテストを繰り返すことで、釣りをする上で大事なファクターである『飛距離』と、狙い通りのアクション（使い勝手）

を両立させることに成功した。

「キャストした瞬間の『ラインが引っ張られるキャストフィール』は、12gの自重とは思えないほど、一切のブレ無く矢のようにカッ飛んでいきます。これは実際に投げてもらわないとわからないと思いますが、ライトモデルとは思えないほどストレスの無い飛距離を体感してもらえますよ！」

3ジョイントのプレックスでも、ジョイントルアーは飛ばないという通説を覆して、驚異的な飛距離を見せつけたLONGIN.。飛距離へのこだわりはレビンライト 12gにももちろん継承されている。

## シャロー攻略におけるレビンライト

実際に、どのようなシチュエーションのフィールドでレビンライト 12gを使うのだろうか。

「広大な干潟や河口などで、流れの変化を探すのにも大切なのが飛距離です。レビンライト 12gは飛距離にもこだわったのでサーチ力抜群。そしてデットスローに巻いてもボトムを擦ることなくシャローレンジをゆっくり丁寧にキープし続けるため、誰でも簡単に使いこなせるシンペンです。

ロッドティップの上げ下げとリトリブスピードの変化で水面直下から約40cmのレンジを細かく探れるので、シャローや牡蠣殻などの根掛かり地帯などでも恐れることなく丁寧に探ることが可能です。

アマモ帯などの海藻が生い茂る、居着きのシーバスが身を潜めているようなポイントでは、水面からアマモの葉に引っかかるか引っかからないような狭いレン



ナイトゲームでの流れの中を漂わせながらゆっくりドリフトさせると、エサと勘違いしたかのような丸呑みバイト！



ジを狙うことがありますよね。そんな場所でも、わずかなレンジの変化にも簡単に対応できるんです。また、ゆっくり巻いてくるだけで、艶かしい泳ぎをするので、隠れている居着きシーバスのバイトを誘発します。速く巻くとミノーのような微波動アクションに変化して、ギリギリまで泳ぎが破綻するのを抑えます。

橋脚の明暗ラインをゆっくり丁寧にドリフトさせる釣りでは、ルアーを流しているだけでボディからフィンキール、全体を使って水を捉えるので、ラインを張りながらドリフトし続けるだけで水面直下を延々とキープして泳ぎ続けられますよ（※シンキングなので完全に動きを止めたら沈んでいくというのはお忘れなく）。

シャロー対応のルアーというと干潟のイメージが強い人もいるかもしれませんが、干潟だけでなく河口でも使いどころが多いので投げたてて欲しいですね」

## アピール系にこだわったカラー展開

今回のレビンライト 12g のカラーチャートは、イワシなどのリアル系を極力減らし、攻撃的カラー（アピール系）が多く採用されているようだが……？

### COLOR CHART



024：ボラ（レンズホロ）、025：レンズキャンディー（銀粉ラメ）、027：チャートゴールドグローキャンディー（マグマ）、032：ブラックキャンディー（マグマ）、067：ピンクヘッドパールキャンディー、043：ゴールドレインボーオレンジベリー（メッキ）、029：チャートパールオレンジ（パール）、064：マットチャートヘッド（クリアマグマ）、041：クリアパーフルラメ（クリアマグマ）、065：ドチャートマット、057：ピンクサンドゴールドイワシ（スマッシュ）、009：レッドヘッド（銀粉パール）、046：落ち鮎グローベリー銀粉ラメ（縦ホロ）※ 046 は初回限定生産





ナイトゲームのテストではチャート系が強かったため、カラーチャートにはアピール系を多く採用した。

「それは、レビンライトを使用する状況をナイトゲームメインに考え、アピール力の強いカラーリングを取り揃えたためです。カラーについてはいつも悩むのですが、今回はカタログ用のカラーチャート撮影を終えた段階で数色差し替えるほど迷いました。干潟などのクリアな水質で絶対的な強さを見せるクリアカラーも2色採用しています。様々な状況を考え、最後まで悩み抜いた現時点での最強のカラーチャートです!」

LONGIN. 他製品のカラーチャートと比べると独

特なラインナップなのも、理由を聞いて納得だ。

「レビンライトはかなり長くテストをしましたが、特に印象に残っているテスト釣行は2014年の秋、自分だけレビンライト（プロト）を隠し持って友人と干潟へ行ったときのことです。

前日までは流れが走っているエリアを発見すれば、簡単に魚からの答えが返ってきていましたが、この日はダラダラとした流れがあるだけ。レビンライト（プロト）を広範囲に扇状に遠投を効かせて1投1投、デットスローに巻いてゆっくり丁寧に攻めると、流れに漂わせるように意識してゆっくり巻いてきたときに「ツンっ」という小さなアタリが！ 遠投していたのでフルパワーフッキングでヒット！ エラ洗い連発のナイスファイトで上がってきたシーバスを見ると、レビンライトを頭から丸呑みでした。

その後も僕は同じパターンで連発していましたが、隣にいた友人はノー

バイト。手持ちのラストサンプルを1本手渡すと……まさかの数投目からヒット！興奮して伊藤に釣果報告の電話をしたことを思い出します。

私自身、この時点から完全にレビンライトの虜になったのは言うまでもありません」



テスト中にプロトモデルが大量に入ったカバンを紛失するという、嘘のような本当の事件もあった。

## ルアー製作に対するこだわり

パッと見、外見の変化がわかりづらいが、レビンライトは他モデルと比べて内部構造やウェイト配置、トップアイの上げ下げ、ワイヤーを埋め込む長さについてもコマ単位で変化を加えてある。

「微妙な構造の変化でも、あからさまに巻き心地やアクション、粘り強さ、水抜け、飛距離まで全てが変わります。なので、ある一方が良くなったと思ったら他がダメになるということも当然のように起こきますね。

しかし、ロンジンのルアー製作において妥協する点はありません。初めに設定した理想とするアクションが完成するまで作り続けるので、見た目上の変化すらわからないような微々たる調整をしながら、相当数のサンプルが伊藤の手作りで作成されました。

これはとてつもない時間が掛かることであり、地味な作業です。ですが、製作者が納得いくまで確認するこの作業が、何よりも大切なことだと僕も伊藤も思っています」

ロンジンで作られるサンプルルアーは、最近主流になっている3DCADや3Dプリンターを用いたものではなく、全てが伊藤のお手製のもの。

「是非、レビンライトを一般的なサイズ展開された商品とは違う、ロンジンのこだわりのモノづくりから生まれた商品として体感していただけたら嬉しいです」

LONGIN. が贈るフリーペーパー

# ロンジンマガジン Vol.5

弊社製品取扱店にて9月より配布開始します!



秋の特別発行となったロンジンマガジンは今号で第5号! (特別発行号なので、前号よりは本の厚みが薄めです)

新製品レビンライトの巻頭解説記事に加え、秋のハイシーズン前に読みたいバイブレーションの使い方記事2本、魚の居場所を探りながら釣るための基礎知識記事を収録した保存版!

本は薄くなったけど中身はアツい今号も、もちろん無料配布! 弊社ルアー取扱店全店に順次発送しますので、店頭になかった場合は店員さんに聞いてみて下さい! (弊社在庫があれば、お店へ送らせていただきます)。

ロンジンマガジンのご意見・ご感想もお待ちしております (HP アンケートよりお送り下さい)。

## ロンジンマガジン Vol.5

配布価格: ¥0 (フリーペーパー)

版型: A5 版 24 ページオールカラー

発行: 株式会社 LONGIN.

LONGIN. 製品取扱店にて無料配布中  
(数に限りがありますので、品切れによる配布終了の際はご容赦下さい)



**LONGIN**

WE STRIVE TO Tokyo JAPAN since 2011

# WEB MAGAZINE Vol.18

発行日：2015年9月1日

株式会社 LONGIN.